

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 肺線維症の急性増悪時に関与する因子の検証（2施設共同）

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

[研究の背景] 肺線維症は、慢性進行性に呼吸機能が悪化する予後不良の病気です。さらに、急性増悪といって急に病状が悪化する場合があります、病態解明や治療方法の確立が急務です。三重大学では肺の線維化や急性増悪に関連する候補因子を同定しました。

[研究の目的] 急性増悪した肺線維症患者さんの、肺胞洗浄液中の増悪関連因子を測定すること

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肺線維症の急性増悪と診断され、1999年1月1日～2018年12月31日までに気管支肺胞洗浄検査を受けられた方

●研究期間： 承認日より1年6カ月間

●利用する検体、カルテ情報

検体：検査の際に同意をいただいて当院に凍結してあった肺胞洗浄液

カルテ情報：診断名、生年月日、性別、病歴、治療等

●検体や情報の管理

研究事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。方法としては、必要な情報が記録された用紙やCD-Rが研究事務局あてに封書で郵送されます。対応表は、それぞれの共同研究機関で厳重に保管して、研究事務局を含み外部へ持ち出すことはないようにします。研究事務局における対応表は鍵のかかる棚で厳重に保管されます。

・研究代表者（研究の全体の責任者）：三重大学医学部 呼吸器内科 准教授 小林 哲
この研究は、三重大学医学部呼吸器内科と当院の2施設で実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である三重大学感染制御部の高橋佳紀が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 片岡健介

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139